

船舶事故調査報告書

平成29年11月15日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成29年5月5日 12時20分ごろ
発生場所	岡山県 ^{びぜん} 備前市 ^{かたかみ} 片上港 タカゴノ礁灯標から真方位310° 2.0海里付近 (概位 北緯34° 44.3′ 東経134° 11.1′)
事故の概要	ヨット ^{マイ フェアレディ} My Fairladyは、南東進中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成29年7月20日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	ヨット My Fairlady、4.7トン
船舶番号、船舶所有者等	280-41953兵庫、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	センターキール下部に擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期、潮高 約60cm（赤穂）
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、家族1人及び友人2人を乗せ、片上港の棧橋を離れ、同港内を機走により南東進していた。</p> <p>船長は、右舷後部でティラーにより操船していたところ、衝撃を感じ、片上港内の浅所（水深約1.2m付近）に乗り揚げたことを知った。</p> <p>船長は、片上港に寄港したのが初めてであったが、水路調査を行っておらず、同港内の浅所の存在を知らなかった。</p> <p>本船の喫水は、船首尾共に約0.5m、センターキールの下端まで約1.6mであった。</p>
分析	本船は、船長が、片上港内の浅所の存在を知らなかったことから、同浅所域を航行し、同浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、船長が、片上港内の浅所の存在を知らなかったため、同浅所域を航行し、本船が同浅所に乗り揚げたものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航行予定海域は、事前に水路調査を十分に行うこと。